

1) 【総務委員会】全国大会開催について（資料 1）

- ① 審議：8月29日開催予定の「第7回全日本UJ ボクシング王座決定戦」を中止するか？若しくは、延期して「第10回全日本UJ ボクシング大会」を中止し、令和3年3月27日に「第7回全日本UJ ボクシング王座決定戦」を開催するか？

吉沼理事：「第7回全日本UJ ボクシング王座決定戦」について、県の予選、ブロックの予選が出来ていない。東西の予選も必要であり、日程的に困難であろう。延期をして年度末の令和3年3月27日に「第7回全日本UJ ボクシング王座決定戦」を開催することが適切だと考える。

仲間理事：医療現場としては、冬に第2波が来るだろうと考える。感染が繰り返す可能性ある。色んな日程を決めても再度同じように延期や中止を検討することを念頭に置くべきである。

決議：8月29日開催予定の「第7回全日本UJ ボクシング王座決定戦」は中止し、令和3年3月27日は、「第10回全日本UJ ボクシング大会」を実施することを満場一致で可決。

- ② 審議：大会の開催可否の判断時期について開催の可否の判断について、どのように判断すればよいか？例であれば、卓球競技では150日前までに判断しているが、概ねちょうど良いのかと思うが。

内田会長：150日前が良いと考える。

小山田総務委員長：指導者の立場として、選手は通常のトレーニングが1～2カ月はできてないとダメであろう。線引きとして150日前が良いと考えている。

梅下専務理事：決議事項ア．第75回国民体育大会ボクシング競技は、JSP0の指示に従うこととしてよろしいか？

決議事項イ．「第90回全日本ボクシング選手権大会、第19回全日本女子ボクシング選手権大会（シニア）」、「第72回全日本社会人ボクシング選手権大会、第19回全日本女子ボクシング選手権大会（ジュニア）」、「第32回全国高等学校選抜大会/JOC ジュニアオリンピックカップ、第10回全日本UJ ボクシング大会」これらの大会について、統一して150日前までもしくは5か月前までに決定することとしてよろしいか？

中村常務理事：「第90回全日本ボクシング選手権大会については、例年9月がブロック予選となっている。120日前でも良いのではないか？

梅下専務理事：120日前までとなると、決定時期が7月5日となりますがどうですか？

小山田総務委員長：技術的練習が出来てないので、実際には時間がないので、ギリギリ150日前が良いと考える。

決議：ア．JSP0の指示に従うことを、満場一致で可決。

イ．開催判断時期については、150日前までに決定とすることを、満場一致で可決。

- ③ 審議：第74回全日本大学ボクシング王座決定戦の開催について
関東、関西大学ボクシングリーグ戦が中止になっているので、中止せざるを得ないかと考える。

決議：中止について、賛成多数で可決。

- ④ 審議：「第72回全日本社会人ボクシング選手権大会、第19回全日本女子ボクシング選手権大会（ジュニア）」について

小山田総務委員長：ブロック大会がないので、本戦迄の時間に猶予があるので、9/10までに決定すれば良いのではないかと考える。

中村常務理事：国体のリハーサル大会となっており、地元（三重県）も準備を進めており、90日前までの決定で良いと考える。

決議：開催判断時期については、90日前までに決定することを、満場一致で可決。

2) 【スポーツ科学委員会】ボクシングによる外傷・障害に関する調査について（資料2）

泉委員：調査内容は、対象の選手がアマチュアボクシングを開始してから現在までの外傷・障害の経験をオンラインアンケートにて調査を行う。

門田理事：現在の選手に行う調査だと思うが、重症の頭部外傷で引退した選手にも調査しないと、きちんとした情報が得れないと考える。

泉委員：重症の頭部外傷の選手は多くない。どのようなケガをしているのかを、広く調査を行うことが趣旨である。女子の選手に対しての障害調査は初めてである。

時間経過における障害の発生率を求めるような詳しい調査をするのではない。

決議：調査実施について、満場一致で可決。

3) 【強化委員会】ナショナルコーチアカデミー受講候補者について（資料3）

審議事項なし

4) 【専務理事】国際人養成アカデミーについての説明について（資料4）

審議事項なし

5) 【強化委員会】JOC強化指定選手及び強化スタッフについて（資料5）

審議事項なし

6) 【強化委員会】アスリート個人助成金受給対象候補者について（資料6）

審議事項なし

7) 【ガバナンス部】日本スポーツ協会に提出した改善状況報告について（資料7）

審議事項なし

8) その他

マスボクシング大会について

審議事項なし

以上